

## 平成30年度（後期）助成団体及び活動概要

『青少年アンビシャス運動支援の会』では、青少年アンビシャス運動参加団体が取り組む“子どもがアンビシャスになるための優れた活動”や、“子どもたちの成長につながる効果的な活動”などに対し、財政的な支援を行っています。

平成30年度後期の助成事業として、9事業（長期継続活動支援：5事業、短期活動支援：4事業）への支援を決定しました。

### 【長期継続活動支援事業：5事業】

| 番号 | 団体名<br>(所在地)                  | 活動名及び活動内容   |                   |
|----|-------------------------------|---|-------------------|
|    | 活動期間                          | 青少年参加対象者  | 人数                |
| 1  | 田川de寺子屋<br>プロジェクト<br>(田川郡川崎町) | 【活動テーマ：食育の推進】   |                   |
|    |                               | <p style="text-align: center;"><b>むすんでひらいて そば打って</b></p> <p>幼児の情操を育み、良い生活習慣を身につけさせるため、保育園児に対し、偉人伝を語る事業を実施してきた。<br/>28年度からは、遊休地にそばの種を撒き、収穫からそば打ちまでを体験させ、生産の喜びや命の大切さを子どもたちに実感させる事業を始め、3年目を迎える。<br/>今年度は、総仕上げと位置づけた「そばフェスタ2018」も加えて開催し、そばの花スケッチ大会やそばの試食コーナーを設け、食の重要性、命の尊厳への理解を深めるとともに、子ども同士や大人とも交流する計画である。</p> |                   |
|    | 30年8月～31年3月<br>(28年度～30年度)    | 幼児（3～5歳）・小学生<br>(そばフェスタのみ小学生まで)   | 150名              |
| 2  | NPO法人<br>川塾北九州<br>(北九州市小倉南区)  | 【活動テーマ：スポーツ活動の推進、環境保全活動の推進】   |                   |
|    |                               | <p style="text-align: center;"><b>紫川だれでもカヌー</b></p> <p>「川に学ぶ」という理念のもと、障がいを持つ子どもたちを中心に、自然体験活動を通じて自然の素晴らしさと大切さを伝えている。<br/>カヌー乗船体験や水中生物の観察など、川を安全に楽しめる事業を実施し、障がいを乗り越え、生きる力と感じる力を育む。<br/>今年度は、防災講習も併せて計画しており、川の水を浄化して非常食を調理するなど、危機管理意識の醸成も予定している。</p>   |                   |
|    | 30年8月～11月<br>(29年度～31年度)      | 6歳～18歳<br>(障がい児は小学生)  | 30名<br>(障がい児は15名) |

| 番号 | 団体名<br>(所在地)                         | 活動名及び活動内容   |                     |
|----|--------------------------------------|---|---------------------|
|    | 活動期間                                 | 青少年参加対象者  | 人数                  |
| 3  | 特定非営利活動法人<br>なかがわ自然楽会<br>(筑紫郡那珂川町)   | <p>【活動テーマ：環境保全活動の推進、食育の推進】</p> <p><b>遊休田畑を活用した青少年の農業活動並びに食育活動支援</b></p> <p>東日本大震災を契機に、素人で米づくりを始めて支援活動を継続してきたが、28年度から子どもたちに農業の面白さや大切さを伝え、食育の観点まで幅を広げた活動を始めた。</p> <p>米づくり、野菜づくりの一貫した農作業を体験させ、収穫物を自分たちで調理して味わい、また、施設等にも提供する。</p> <p>今年度は、一部の田んぼで子どもたち自身により、米づくりを担当させることも計画している。</p>  |                     |
|    | 30年8月～31年3月<br>(28年度～30年度)           | 5歳～15歳  | 延べ100名<br>(小学生が約8割) |
| 4  | 特定非営利活動法人<br>福岡津屋崎子ども<br>劇場<br>(福津市) | <p>【活動テーマ：その他】</p> <p><b>和太鼓・しの笛体験事業 ～まつりで生き生きと発表しよう～</b></p> <p>子どものための優れた舞台鑑賞作品の上演や、表現活動（ドラマスクールや太鼓・お茶等）、子どもキャンプや講演会、学習会など子どもが豊かに育つ活動を行っている。</p> <p>日本の伝統楽器である和太鼓の体験事業を通して、豊かな表現力を育む、異年齢間の仲間の中でコミュニケーション力を培うことを目指す。地域のまつりやイベントで発表の場を設け、目標に向けて最後まで努力することを学ばせる。</p> <p>2年目以降は、対象年齢層の拡大や楽器の種類を増やし、子どもたちの自主性を尊重した練習体制を作っていく。</p>              |                     |
|    | 30年8月～31年3月<br>(30年度～32年度)           | 6歳～15歳（小学生～中学生）   | 20名（小学生が約8割）        |
| 5  | 環境ネットワーク<br>「虹」<br>(福津市)             | <p>【活動テーマ：環境保全活動の推進】</p> <p><b>地域の里田・里山の生物多様性保全プロジェクト2018</b></p> <p>福津市の里田・里山において、農業体験や自然観察・生物調査を行い、その結果をグループワークで話し合い、生物多様性の保全意識を醸成する。</p> <p>里田では、稲刈りや脱穀などの米づくり体験や収穫米の調理体験、田んぼの生き物を調査し、生物多様性に気づかせる。</p> <p>また、里山では、福津市に生息する絶滅危惧Ⅱ類のニホンアカガエルやカスミサンショウウオ等の調査を行う。</p> <p>2年目には「生き物マップ」づくりも行い、3年目には市民を対象に活動報告会を開催し、子どもたちが成果を発表することも予定している。</p> |                     |
|    | 30年8月～31年3月<br>(30年度～32年度)           | 4歳～12歳  | 延べ180名<br>(約9割は小学生) |

【短期活動支援事業：4事業】

| 番号 | 団体名<br>(所在地)   | 活動名及び活動内容  |                   |
|----|--|--|-------------------|
|    | 活動期間   | 青少年参加対象者   | 人数                |
| ①  | 特定非営利活動法人<br><b>私善<br/>(しぜん)</b><br><br>(太宰府市)                     | <p>【活動テーマ：食育の推進】</p> <p><b>自然の中で育てられた農産物の収穫体験</b></p> <p>無農薬無化学肥料栽培の農産物の普及のため、生産者と消費者に農産物の理解を深めてもらう活動を行っている。<br/>生産者の協力を得て、虫や雑草のある大自然の中で、子どもたちに自然栽培された農産物の収穫体験をさせ、視覚、聴覚、触覚などの五感で自然の食物を感じさせる。<br/>野菜を直に収穫することで、食の大切さ、自然の大切さを感じる力を育て、未来の自然を守ることにもつなげてもらう。</p>  |                   |
|    | 30年8月～31年3月  | 4歳～12歳   | 延べ60名<br>(幼児が約8割) |
| ②  | 中村学園大学短期大学部<br><b>合同和太鼓部<br/>輝来響楽座<br/>(きらきらざ)</b><br><br>(福岡市城南区) | <p>【活動テーマ：その他】</p> <p><b>輝来っ鼓 (きらっこ)</b></p> <p>大学の和太鼓部のボランティア活動の一環として、始めた活動である。軽度な知的障がいを抱える子どもたちを対象に、和太鼓を通して音に触れ合うことの楽しさ、その音を誰かと一緒に奏でる充実感を味わうとともに、他の子どもや学生（指導者）と関わりを持つことで多くの考え方に触れ、心の育成に繋げる。<br/>指導者、補助者も学生で、教員を目指す者が多く、軽度な知的障がいを抱える子どもたちとの関わり方や、望ましい支援方法について意見を出し合いながら取り組んでいる。</p>                                     |                   |
|    | 30年8月～31年3月  | 4歳～12歳   | 10名（小学生が約8割）      |
| ③  | NPO法人<br><b>好きっちゃ北九州</b><br><br>(北九州市小倉南区)                         | <p>【活動テーマ：その他】</p> <p><b>アクティビティ防災プログラムの実践と体験</b></p> <p>小・中学生を対象に、自然災害への認識や防災対策への意識を醸成するため、小学校・中学校や大型ショッピングモールにおいて、ゲーム形式の防災プログラムを使って学ばせる。<br/>また、このアクティビティ防災プログラムを、大学教員の協力のもと体系的な教本として編集を行い、このプログラムを使って活動する青年リーダーを養成する。<br/>今後、防災活動へのニーズは高まると考えられ、子どもたちが防災意識を持ち、主体的に考え、友達と助け合い、意見を出し合うといったプログラムを普及させ、子どもたちに力をつけさせる。</p> |                   |
|    | 30年8月～31年3月  | 2歳～12歳   | 450名（小学生8割）       |

| 番号 | 団体名<br>(所在地)   | 活動名及び活動内容  |             |
|----|--|--|-------------|
|    | 活動期間   | 青少年参加対象者   | 人数          |
| ④  | 総合型地域スポーツクラブ<br><b>スポーツBRANDEX</b><br><b>福岡</b><br>(筑紫郡那珂川町) | 【活動テーマ：スポーツ活動の推進】<br><br><b>身体バランスを未就学児から小学生まで育てる、<br/>ストライダープロジェクト</b><br><br>子どもたちの外遊びが減少し、事故やけがが増えているが、バランス感覚を身に付けさせることで回避できるとの考えから、自転車を使った取組みを行っている。<br>今回、新たな取組みとして、ペダルなしの二輪車である「ストライダー」を使い、乗車技術の習得から、競技会の開催、サイクルサッカー競技を実施することで、子どもたちの体力向上、バランス感覚の養成、仲間との協調性を育成する。<br>また、ストライダーは2歳から乗車が可能であるため、対象年齢を引き下げ、幅広く子どもたちを指導する。 |             |
|    | 30年8月～31年3月  | 2歳～12歳   | 450名(小学生8割) |